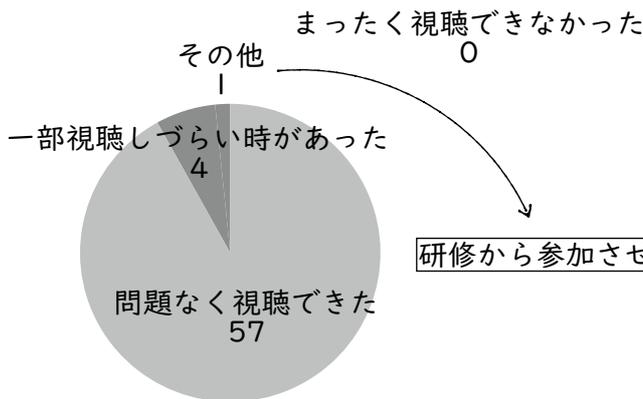


オンライン視聴について



研修から参加させてもらいました。

記念講演について

平均評価 4.91/5



研修会講師へのご感想・ご質問

- 動画やピフオーアフターの事例、ありがとうございます
- 自分自身の教員生活を振り返って、反省させられました。とても勉強になる研修会でした
- 視覚支援の大切さを改めて知る良い機会となりました。ありがとうございました
- ありがとうございました。夏休み明けからまた頑張ります
- 青木先生の講演ということで、参加させていただきました。ありがとうございました
- これまでの実践を反省し、時間をさかのぼりたいくらいです。大変参考になりました
- 2学期から視覚教材を活用していきたいと思いました
- とてもわかりやすく、勉強になりました。ありがとうございました
- 子供の困ったに対する支援の方法や捉え方など、大変参考になりました。本日はお忙しい中、貴重なスライドやお話、ありがとうございました
- わかりやすくテンポの速いお話だったので、後でゆっくり整理したいと思います。視覚支援頑張ります！
- とても勉強になりました。他の職員へも情報共有して2学期からの実践につなげていきたいです。ありがとうございました
- 実践ありの見応えある内容でした。早速DropNewsに登録させて頂きたいと思います。ありがとうございました
- ぜひ、ドロップニュースを活用したいと思いました
- 大変素晴らしい講演でした。ぜひ参考にさせていただきます。早速、ドロップニュース登録申請しました！成功体験だけでなく失敗体験も聞けたらと思っています
- 短い時間ではありましたが、今回も色々気付かされる事が多く、とても中身の濃いお話でした。今回は2名で拝聴させていただきましたが、本校の他の職員にも聞かせたかったです。また機会がありましたら、じっくりお話をうかがいたいと思います。ありがとうございました
- 視覚教材、視覚資料の様々な示唆を頂き、工夫して、子供達のための活用ができるように取り組みたいと思います。また、ニュースもすごくいい資料ですね。是非活用したいと思います。本日は、ありがとうございました
- 特別支援が必要な児童生徒への支援の実践事例が豊富で、肢体不自由、知的障害など幅広い障害種の支援のお話を聞くことができ、大変実りのある研修でした。視覚支援やICT活用で、時事的なニュースへの活用など「朝の会」の取り組みへの工夫や「文字を書くことが苦手な児童」への支援など学校現場で活用したいと思います。ご講話ありがとうございました
- 子どもが自立の視点で、本研修で最低限伝えた事に「これまでの知的障害の子への支援の「欠点」を直視しようについて、勉強になりました。今後の特別支援教育に活かしたいと考えます。青木先生ありがとうございました
- 「自分で動ける」主体的行動のためには「わかる環境」から。コミュニケーションの基本はわかる環境(視覚支援)を作って、離れて見守ることも必要。「わかると自発的行動に繋がる」という言葉が印象的で自身の取り組みを見直す視点と切っ掛けを頂きました。1学期からの反省と2学期からの実践に役立てたいと思います。ありがとうございました
- 視覚支援とAACについてわかりやすく教えていただきました。講演を通して子どもとのかかわりに足りなかった要素が見えてくるとても有意義な学びとなりました。DropTap等今回紹介いただいたツールやメソッドを今後の支援指導に生かしていきたいと思います。本日は本当にありがとうございました
- とても分かりやすく、明日にでも実践出来そうな内容でした。初めて支援クラスを受け持つ私にとって、支援の仕方や視覚支援の大切さを学ばせていただきました。本当にありがとうございました
- 最後まで集中して聞き入ってしまいました。今後の教育活動において、かなり参考となる内容でした。大変ありがとうございました！(青木先生の本もさっそく購入しました)
- ドロップを使った視覚支援の効果を感じることができました。目で見て自分で動く、児童のやりたいを高めていける支援事例も沢山紹介して下さり学びが多く得られました
- 今日の講演を通して、教師がいかに視覚支援やICT機器を用いたコミュニケーション支援を行うべきか、その具体的方法がよく理解できました。今後、学級経営を行う際「Drop News」を活用していきたいです。今日は、大変貴重な講演をありがとうございました
- 新たな気づきが得られました。早口も時代に合ってます
- 今年度、初めて特別支援学級を受け持つにあたり、教師による視覚支援の重要性について知ることができました。今後の学級運営に役立てていきたいです。ありがとうございました
- 視覚支援の大切さがよく分かりました。教職3年目で経験は浅いですがこれまでの指導の仕方を見直し、今後の指導方法を改善していきます。Drop newsも登録して生徒に見せています。最新のニュースを毎日提供していただきありがとうございます。改めて本日はありがとうございました
- 支援の仕方や方法など毎日自問自答で考えていましたが、視覚支援の重要さ、日々の指導のやり方など見直すことができ大変参考になりました。先生の本を持っているのですがそれを見て話を聞いてとても理解が深まりました。普段から支援指導のやり方に疑問に思うことがあったのですが、今日の内容から確実に変えていこうと思いました。ありがとうございました

- 重度重複障害（右脳海馬欠損、症候性てんかん、先天性疾患その他色々）の担当をしています。障害の特徴にもよると思いますが、一方的なコミュニケーションに対応していることに気付きました。絵カード使用はまだ難しいですが、カードに興味を持たせることから始めようと思います
- 小学校情緒学級を担任していますが、青木先生のお話からいろいろな気づきがありました。今日、学んだことを子供たちに還元できるように、夏休みに準備したいと思いました。ありがとうございました
- 大変興味深い内容でした。特別支援だけではなく、通常学級でも、視覚支援、構造化、Drop News等を積極的に広げていきたいと思ひ、途中から通常学級の先生方にも参加していただきました。ありがとうございました
- 自分の子供たちへの支援について、反省することがたくさんありました。改善したい点をいろいろな視点から考えて、従来の方法にこだわらず、どうやらできるのが、子供にとってはどうしたら最善なのか等を改めて考えて支援できるようにしたいと思いました。素晴らしい講演、本当にありがとうございました
- 青木先生の講演、とても勉強になりました。寝そべっている子やプリントをやりたくない子など、いるいると思ひながら、私はその子たちの本当の原因を見ることができているのか振り返りながら、聞いていました。「自立」や「自分で考えて動く」ことを目指しての支援を今一度考えてみようと思いました。たくさんのお話を教えていただいたので、内容を振り返りながら、自分の中に落としたいと思ひます。ご講演ありがとうございました
- 今年初めて支援学級の担任を受け持ちましたが、べったりくっついた支援、だらだらと続けて効果のない支援というのが、現状行われていた気がしました。自立するために周囲の大人が物理的な距離を取るということを意識して、支援の手立て等考えていきたいです
- 事例があつて、とても分かりやすく大変勉強になりました。思い浮かぶ児童もいて、すぐに実践したいと思ふことがたくさんありました。今日の講演で学んだことを活かして、視覚支援やICT機器、iPadを有効活用していきたいと思ひます。貴重なお話ありがとうございました
- 取り入れたいと思ふ指導方法がいくつもあり、「過剰な接待」になりがちだった部分を改めていきたい。またDropnews（慣れてきたら独自のニュースを作成しようと思ふ）やDropTapを有効に活用したい
- 青木先生の視覚支援から始める知的障害児のコミュニケーション支援はとても考えさせられる物があり、是非実践していきたいなと思つた。視覚支援はやりたくても時間がかかったり、毎時間教具の準備が大変でできないことが多かったが、青木先生のドロップツールやドロップニュースはさすがに活用できそうなので、実践していきたいと思ひます。特に気持ちを伝えることが苦手としている生徒がいたので、活用していきたいです
- 「欠点」についての指摘、青木先生の助言は、こんな風に伝えれば相手（同僚等）にわかりやすく伝えられるんだなあという意味でも大変勉強になりました。生徒の実態や段階を踏まえずに、視覚教材を使っていたつもりでいた事も反省しました。講話の中で多くのヒントをいただき、アイデアも浮かびました。私達が目指す生徒個々の自立。独りよがりの教材づくりにならないように、支援学校のTT体制という強みを生かして、教師自身もコミュニケーションをとりながら、進めていきたいです。ありがとうございました
- 口を開けば暴言しか出てこない生徒がいて、コミュニケーションがとれません。最近、家庭では母親に周りの音が雑音に聞こえたり、文字が歪んで見えたり、と話していたそうです。授業の後半に集中できなくなり荒れるのはそのせいかもしれません。非行傾向にもあります。今日の講演会の内容で参考になることがたくさんありました。彼のためにできることを考えていきます
- 「これまでの知的障害の子への支援の『欠点』を直視しよう」という言葉は、まさにその通りだと感じました。「スムーズに予定をこなす」ことが目的ではなく、「子ども達の自立に向けた支援」が第一義的な目的であることを、再認識することができました。視覚支援や構造化のお話では、否定的な先生への率直な意見にも好感が持てました。「見える、わかる→安心する」は、まさに視覚支援や構造化を表すお言葉だと感じました。また、このお話を聞いて、県内でも昨今話題となっている「知的障害における教科学習」について、自分なりに考えていたことを思い出しました。自分たちがよく知らない他民族や見知らぬ人に恐れを抱くのと同じように、子どもたちも知らないから不安を感じる場面もある、だからこそ「(教科学習を通して)知る→安心する」機会の保障が必要なのではないかと考えています。ただその場合においても、青木先生の実践事例で紹介されていたように、子どもたちができることからスタートしていく支援が大切だと学ぶことができました。貴重なお話を本当にありがとうございました
- 視覚支援教材について生徒の実態が高いことをいいことに軽んじていた気がします。再度学習しなおしたいと思ひます。久里浜特支のwebも早速確認したいと思ひます。スライドの資料がいただけなかったのは残念でしたが書籍を購入すると全て記載されているとおっしゃっていたので手に取ってみたいと思ひます。しかし当日資料があればやはりありがたかったです。ご検討下さい。本日は貴重な講演会ありがとうございました
- 青木先生のお話は早口でしたが、一語一語聞き取りやすくわかりやすかったです。卒業後、社会の中で使えるためには、機器を携行しやすいことが必須と思ひますが、スマートフォン以外にもウェアラブルな機器での応用も予定していますか？たとえば、アップルウォッチ等
 - DropTapについては、確約はできないのですが、社会の中で使えること、本当に重要だと思ひます。DropStep+Bytalkというアプリは私が企画したのですが、まさに社会に出て使う「行動支援型アプリ」を目指しています。また機能は完璧なものではないですが、このアプリはすでにアップルウォッチに対応しています。
- 一つ質問です。教えて下さい。極小規模校で、中学校は全部で7名です。特支学級に一人在籍で、同級生は不登校で学校におらず、他学年との授業（体育・美術・技術）を本人が拒否していることがあります。他者と自分の出来具合の差を比較して（先輩と）落ち込んでいるのではないかと思ひます。ただ、将来的には、他者とのコミュニケーションが必要だと思ふので、青木先生が話されていたように、他者とコミュニケーションを促してはめる環境を作りたいと思ひます。似たような事例がありましたら教えて頂けたらと思ひます。よろしくお願ひいたします
 - 自ら他者と比較して落ち込むタイプの子には、一見遠回りでも、自分で集中して（楽しみながら）取り組める活動を作ることが早道だと思ひます。他者とのコミュニケーションはどうしても不確定な要素が多くなるので。私の知っている事例では、苦手な美術はPCを使ってCGで絵を仕上げ、他の子にも称賛されるようになることで自信を高めていった例があります。他者との関係作りをリアルタイム、対面の物に限定しないで考えてみてはどうでしょう。
- 自発的行動になってほしいので、視覚支援を夏休みで準備して2学期さっそくためしてみようと思ひました。否定的な言葉ばかりいう児童への視覚支援はどういうのがあるのか教えてほしいです。
 - 本人が否定的な言葉を使う子ども、視覚支援のやり方には影響ありません。とにかく周囲の人は端的かつ肯定的な視覚支援提示、簡潔な指示と明確な称賛を続けることです。もし、いやだ、きらい、とかの拒否の言葉を連発するタイプの子、という意味であれば、そういう否定的な言葉は口癖レベルになっているだけで、ほとんど意味がないことが多いです。拒否の言葉を連発すると、周囲が忸度して、結局好きなことだけやれるか、何もなくて済む、という学習をしてしまっていることが多いです。そういう子には視覚支援を使って簡単な作業をしてもらい、そして褒める、を基本にしてください。
- 事例がとてもわかりやすかった。自分のクラスにもおしゃべりはできますが、いざ質問されると黙ってしまふ子があります。簡単な質問（朝ご飯何食べた？や、はい、いいえの質問など）には答えるようになりましたが、自立活動などで、会話のやりとりの練習方法など、ございますでしょうか？
 - 経験上緘黙傾向のある子には、視覚支援はとても有効です。質問に対して黙ってしまうタイプの子にも、同じようなアプローチが有効でした。文字が読める、書ける子であれば、筆談を積極的に取り入れて、質問の答えは書いてもらう、で良いと思ひます。また、書くのが困難な場合には、(株)おめめどの「コミュメモ」の「えらぶメモ」を使って積極的に選んでもらうようにしました。<https://omemedo.ocnk.net/product/498>

運営についてのご意見・ご感想

- ありがとうございます
- 特に問題はなかったです。大変お疲れ様でした
- とても素晴らしいです。ありがとうございます
- お疲れさまでした
- 総会の運営お疲れさまでした
- 毎回の運営お疲れ様です
- 青木先生のご講話、とても素晴らしかったです。事務局の皆様も運営等お疲れ様でした
- 青木先生の記念講演で、すぐ使える実践例がありとてもよかったです
- スムーズな進行だったと思います
- いつも丁寧でスムーズな運営ありがとうございます
- スムーズな運営ありがとうございました
- スムーズな運営でした。ありがとうございます
- スムーズな運営ありがとうございました。講演はとても楽しかったです。お疲れ様でした
- とてもスムーズな進行で視聴しやすかったです。ありがとうございます
- とてもスムーズに進行できていました。事務局の先生方ご苦労様でした
- コロナ禍の中、いろいろ大変だと思いますがスムーズな運営お疲れ様でした
- コロナ禍における適切な運営、感服いたします
- 事務局はいつも素晴らしい運営だと思います。お疲れ様でした
- お疲れ様です。運営など色々大変だったと思います、大変ありがとうございました
- 事務局の先生方のお陰で問題なく視聴できました。事前の準備などご苦労も多かったかと思います。ありがとうございます
- 総会資料の映し方や進行等、とてもわかりやすく円滑でした
- 運営お疲れ様でした。オンライン開催でも、わかりやすかったです
- 色々な方々が研究されているので、是非とも実践事例等見ていきたいです
- いつもスムーズな運営、本当にありがとうございます。とてもわかりやすくです
- 運営お疲れ様です。記念講演とても勉強になりました。ありがとうございます
- 名護でも最初から最後まで問題なく視聴することができました。総会の内容についても特にありません
- 事前の資料準備や情報提供を丁寧にして頂きありがとうございます
- 時間通りに始まり、映像も問題なくよかったです
- Zoom等が、今後も継続していけると、参加者も増えると思います
- 総会について、私個人のうっかりミスにも丁寧に対応していただき、感謝申し上げます
- 初めての参加でした。正直アイデアは浮かびませんが、また参加したいです
- 総会についてコンパクトに提案していただいたおかげで、青木先生の講演でしっかり学ばせていただきました。ありがとうございます
- 現職の教諭と言うことで、実践に基づいた映像記録、教材活用等を紹介して頂きとても納得のいく内容でした。児童生徒との、コミュニケーションについては、課題が多い用途があります。本日の講話を参考にして、指導支援の工夫が図られ、今後子どもたちの視野や世界が広がることに期待したいです
- 今回、初めて参加させて頂きました。Zoomでどこからでも参加出来たからこそ、今日の講演を聞く事ができました。運営の皆様感謝致します
- アンケートがすぐ届く等、いろいろな面から運営していただき、とても参加しやすい運営をされていると思います。本当にいつもありがとうございます
- 非常にスムーズで問題ないです。今回の講話の内容も大変分かりやすく、普通小中の先生方にとってもかなり参考になられたかと思えます。事務局の大平の校長先生、教頭先生、局長の山口先生をはじめ、大平の先生方、大変お疲れ様でした
- 拝聴しやすいスムーズな会でした講演、すごくよかったです。もっと多くの先生方に見てもらいたいです。各学校から一端末の申し込みで悉皆研修としてでもいいくらいの内容でした。募集方法を再検討をお願いします
- 参加人数（許容数）をもう少し多くしてほしいなと思いました。また、中北部の小中学校の参加が少ない気がしました。九特連沖縄大会に向けて周知の工夫も必要かもしれませんね
- **総会での決議を円滑に進めるため、昨年度の反省を踏まえて定員100名といたしました。運営に関するご指摘の内容については、事務局として検討し、次年度に引き継ぎをいたします。また研究大会については、記念講演およびシンポジウムを定員500名のウェビナーとして実施いたします**
- 研究会の計画運営ありがとうございます。できれば、メールのアドレスが他の人のものが分からないようにしてほしいです
- **たいへん失礼いたしました。事務局業務の見直し・改善のため、今回より申し込みのあった支部・地区・学校ごとの一斉送信とさせていただきますが、ご指摘の内容を踏まえて次回からは、従前の方法にて個別に送らせていただきます**
- 総会の次第の流れが分かる視覚支援があるとよいと思います
- **限られた時間内での決議のため、丁寧さを欠く部分がありましたことを深くお詫びいたします。議事進行の方法については、今後検討いたします**

問い合わせ



沖縄県
特別支援教育
研究会

令和4年度 事務局
山口飛・桑江広太
徳森愛・玉城百合香
廣渡善治・石川敦

TEL：098-877-4941 / FAX：098-876-4148

MAIL：okitokuken@as.open.ed.jp

沖縄研HP：http://www.okitokuken-as.open.ed.jp

研究大会HP：https://sites.google.com/ohira-sh.open.ed.jp/kyutokuren

